

佳作

だいききなゆきちちゃん

福岡県

篠栗町立篠栗小学校一年

堀 未佳

がっこうからのかえりみちにわたしが、おとこのこたちに、いじわるをいわれて、いいかえせなくて、くやしきもちと、かなしいきもちで、ぐしゃぐしゃのかおで、かえつてきたよ。おかあさんは、はなしをきいて、「だいじょうぶ。きにしないの。」といつてくれたよ。それでもきもちはおさまらなかつたよ。そこで、わたしのいもうとは、まどからそとにむかつて、「ねーねにいじわるいったなー、そっちのほうがうんこじゃー、こんどゆつたらたたくよー。」と、どなったよ。おかあさんとおおわらいをしたら、わたしのきもちは、スカッとしたよ。そんないもうとは、ヒーローみたい。

おかあさんからおこられて、いじけてないでいるときに、いもうとが、はしつてくるよ。「どしたん。」といいながら、なみだを、いもうとのふくで、ふいてくれるよ。わたしが、まだまだなくても、ずっとそばにいてくれるよ。とんとんと、いもうとのちいさいでしてもらったら、だんだんわたしのきもちが、おさまるよ。そしてふたりで、おひめさまごっこをするよ。むかしは、わたしが、あかちゃんのいもうとをやっていたよ。ぎやくになったね。もうすぐ4さいのゆきちちゃん、わたしをまもってくれて、ありがとう。